



2010(平成 22)年 3 月 29 日

各 位

東燃ゼネラル石油株式会社
東京都港区港南一丁目 8 番 15 号
代表取締役社長 ピー・ピー・デューコム
(コード番号: 東証一部 5012)
問合せ先:
エクソンモービル有限会社 広報渉外部
Tel: 03-6713-4400

支配株主等に関する事項について

当社の親会社であるエクソンモービル有限会社について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

1. 親会社等の商号等

(平成 21 年 12 月 31 日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)	発行する株券が上場されている金融商品取引所等
エクソンモービル有限会社	親会社	50.5	該当なし
エクソン モービル コーポレーション	親会社	50.5	ニューヨーク証券取引所 (米国)

- (1) エクソン モービル コーポレーションは、子会社を経由して間接的にエクソンモービル有限会社に 100%出資している当社の親会社の 1 つですが、当社とエクソン モービル コーポレーションの間に重要な取引関係はありません。
- (2) エクソン モービル コーポレーションの議決権所有割合は、すべてエクソンモービル有限会社を経由した間接所有割合です。
- (3) エクソンモービル有限会社の当社発行済株式総数に対する株式保有比率は 50.02%です。

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称およびその理由

名称	理由
エクソンモービル有限会社	直接的に、当社の過半数の議決権を有しており、かつ、下記「3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、その他の上場会社と親会社等との関係」に示すような広範囲にわたる人事関係、取引関係を有している。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、その他の上場会社と親会社等との関係

エクソンモービル有限会社および当社を含むエクソンモービル・ジャパングループ各社はグループの事業形態として機能別組織を採用しています。

この組織の目的は、グループとしてのスケール・メリットによる経済性の向上、グループ各社横断的な相乗効果の実現、そして全世界のエクソンモービルが有するベスト・プラクティスの迅速な導入とその実行にあります。当社とエクソンモービル・ジャパングループ関連会社との主な関係は以下の通りです。

- 当社は、エクソンモービル有限会社に対し、両社の間で締結した石油製品の供給引取契約に基づき、石油製品を供給しています。
- 当社は、エクソンモービル有限会社との間で契約を締結し、同社の石油製品に係わる特定の物流業務を受託しています。
- 当社は、エクソンモービル有限会社との間で包括的サービス契約を締結し、当社の石油製品の販売業務及び管理統括事務を委託しています。
- 当社は、海外のエクソンモービル関連会社と原油、石油製品及び原材料の供給、役務提供および技術援助に関して提携しています。
- 当社の子会社である東燃化学株式会社は、エクソンモービル有限会社との間で代理店契約を締結し、同社を石油化学製品の販売と物流業務を行う総代理店として起用しています。
- 当社の取締役 7 名のうち、6 名はエクソンモービル有限会社の取締役を兼務しています。
- エクソンモービル・ジャパングループ内の最適人員配置を目的として、当社は、エクソンモービル有限会社より本社精製・供給部門、油槽所、各工場に 96 名の出向者を受け入れており、一方、当社からも 269 名の従業員がエクソンモービル有限会社のサービス・管理部門や販売部門に出向しています。(平成 21 年 12 月末現在)
- 当社は、エクソンモービル有限会社および他のエクソンモービル・ジャパングループ各社と緊密な協力関係を保ちながら、効率的に事業を展開しています。
- エクソンモービル有限会社の兼務取締役の就任状況や出向者の状況は当社としての独自の経営判断を妨げるものではありません。当社の最大利益のために適切な意思決定が行われるべく、経営の独立性と独立したガバナンスシステムを確立しています。

役員の兼務状況

(平成 22 年 3 月 26 日現在)

役職	氏名	親会社等での役職	就任理由
取締役会長	M.J.アギアー	取締役	グローバルレベルの豊富な経験を有し、当社の取締役会長として適任であると考えられるため
代表取締役社長	P.P.デューコム	代表取締役副社長	会社業務全般に深い識見を有し、当社の企業経営に資すると判断されるため
代表取締役常務取締役	武藤 潤	—	「精製・供給部門」において豊富な経験を有し、当社の企業経営に資すると判断されるため
代表取締役常務取締役	W.J.ボガティ	代表取締役社長	国内外の「財務・管理部門」を中心に深い識見を有し、当社の企業経営に資すると判断されるため
取締役	吉田 恭二	取締役	販売及び渉外分野にて豊富な経験を有し、当社の企業経営に資すると判断されるため
取締役	S.K.アーネット	代表取締役副社長	「販売部門」の豊富な経験を有し、当社の企業経営に資すると判断されるため
取締役	D.R.セイポ	取締役	「財務・管理部門」に深い識見を有し、当社の企業経営に資すると判断されるため

出向者の受入れ状況

(平成 21 年 12 月 31 日現在)

部署名	人数	出向元	受入れ理由
本社精製・供給・物流部門等	65 名	エクソンモービル有限会社	エクソンモービル有限会社従業員が有する業務ノウハウの活用
工場(川崎・和歌山・堺)	31 名	エクソンモービル有限会社	同上

4. 支配株主等との取引に関する事項 (自 平成 21 年 1 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日)

(1) 当社と支配株主等との取引

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (又は 出資金) (百万円)	事業の 内容	議決権の 被所有割合 (%)	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)	
親会社	エクソン モービル 有限会社	東京都 港区	50,000	石油製品 の販売	直接50.5	役員の兼任、石油製 品の購入・販売、役 務の提供及び資金 取引	営業取引	石油製品の 販売	1,113,303	売掛金	253,472
								石油製品の 購入	143,758	買掛金	63,702
							営業外 取引	受取利息	9,427	未収入 金	1,378
									13,872	未払費 用	1,856
		29	短期 貸付金	26,202							

(注記)

- エクソン モービル コーポレーションは、子会社を経由して間接的にエクソンモービル有限会社に 100%出資している当社の親会社の 1 つですが、当社とエクソン モービル コーポレーション間に重要な取引関係はありません。
- 取引条件ないし取引条件の決定方針等
 - ① 石油製品の販売及び購入価格は、市場価格によっております。
 - ② 未収入金及び未払費用は主に、「Amendment and Restated Agreement for Comprehensive Administrative Services」に基づき、当社が負担または請求すべき金額です。
 - ③ 資金取引においては、国内金融市場と同水準の金利を適用しております。
- 上記の金額のうち、期末残高には消費税等が含まれており、取引金額には含まれておりません。

(2) 当社連結子会社と支配株主等との取引

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (又は 出資金) (百万円)	事業の 内容	議決権の 被所有割合 (%)	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)	
親会社	エクソン モービル 有限会社	東京都 港区	50,000	石油製品 の販売	間接50.5	役員の兼任、石油化 学製品の購入・販売 及び役務の提供	営業取引	石油化学製 品の販売	113,493	売掛金	16,058
								石油化学製 品の購入	11,299	買掛金	2,931
							営業外 取引	役務の提供	907	未収入 金	80
									3,339	未払費 用	627

(注記)

- 当該連結子会社の名称 東燃化学株式会社
- 取引条件ないし取引条件の決定方針等
 - ① 製品原料の販売及び購入価格は、市場価格によっております。
 - ② 未収入金及び未払費用は主に、「Sole Agency Agreement」に基づき、当社が負担または請求すべき金額です。
- 上記の金額のうち、期末残高には消費税等が含まれており、取引金額には含まれておりません。

5. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

取締役はその業務の執行にあたって、少数株主の保護について万全を期した上、支配株主との取引のうち重要なものについては取締役会の審議を仰ぎ、その決定と監督に服しております。監査役は少数株主保護の観点から取締役の業務の執行を常時監査し、また取締役会の審議に加わり、その内容と結果を監査するなどして、当社と支配株主の公平性の確保に遺漏なきを期しております。

以上